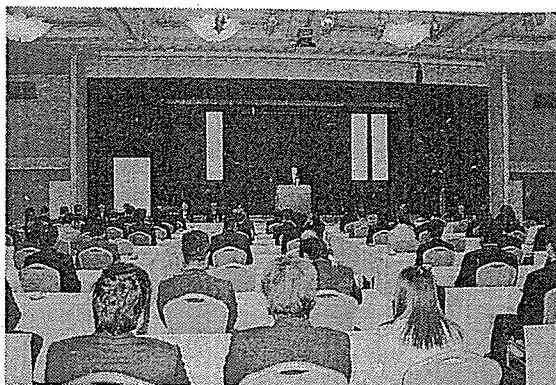


研究成果発表会を開催

日本建設技術グループ



【佐賀】日本建設技術㈱
(唐津市北波多、原裕社長)
グループは3日、平成22年度の研究成果発表会を唐津市内の唐津シーサイドホテルで開催(写真)。ミラクルソルを用いた有明海の底質改善に関する研究成果などを報告した。

今年で7回目となる発表会には全社員と多くの来賓が出席。冒頭、原社長は「公共工事では提案型の入札が増加している。提案力の強化には技術力の更なる向上が不可欠で、発注者ニーズに応え、様々な課題を解決するにはグループ各

社が持つ技術を集約し、対応していくことが重要だ。選ばれるスマートな会社を目指し、今後も挑戦していく」と挨拶した。

成果発表では、地盤環境研究室の生原祐司氏が「有明海干潟域におけるミラクルソルを用いた底質改善効果の実証(文部科学省からの委託研究の成果)」と題

水環境研究室の飯田拓史氏は「水質浄化用ミラクルソルに関する経過・活動報告」として、ろ過材としてのミラクルソルの浄化能力などを説明。今後は海水魚用ろ過材として実用化を図り、新たな分野への販路拡大に取り組む考えを報告した。原社長は、平成21年度の活動報告と、軽量盛土材としてミラクルソルを用いた新しい軽量土工法「FG & チューブ軽量土工法」について説明。同工法の実用化に向けた取り組みを報告したあと、「環境分野で貢献できる新技術・新工法の提案を今後も継続していく」と述べた。

発表の最後には、佐賀大

学低平地沿岸海域研究セン

ターの荒木宏之教授が講

評。「ミラクルソルがリン

を回収する研究などに用い

られるなど、高い評価を受

け、広がりをみせている。

業界は逆風の中にあるが、

更なる発展を期待してい

る」と話した。



発行所

株式会社 九建日報社

〒812-0018 福岡市博多区住吉5-9-19
電話 092(431)5361番
FAX 092(431)7613番
購読料 1ヶ月6,300円

北九州支局 093(921)5011

佐賀支局 0952(62)2450

長崎支局 095(827)5595

熊本文局 096(363)1553

大分支局 097(594)0518

宮崎支局 0985(24)6688

鹿児島支局 099(259)3426

<http://www.kyuukennippou.co.jp>